

平成30年度 第2回桐生市環境先進都市将来構想推進協議会 議事録

1. 日時

平成30年10月15日（月） 18：30～20：40

2. 場所

桐生市役所 6階 605会議室

3. 出席者

（1）出席委員（11人）

会 長：宝田 恭之〔群馬大学大学院理工学府 特任教授〕
副 会 長：近藤 圭子〔きりゅう市民活動推進ネットワーク 代表〕
委 員：西薊 大実〔群馬大学教育学部 教授〕
天谷 賢児〔群馬大学大学院理工学府 教授〕
初山 和久〔桐生商工会議所 副会頭〕
星野 宏之〔新田みどり農業協同組合 常務理事〕
今泉 芳雄〔桐生市家畜自衛防疫協議会 会長〕
佐羽 宏之〔2015年からの生活交通をつくる会 会長〕
栗原 和人〔桐生広域森林組合 総括課長〕
中野 久美〔桐生市女性人材リスト（建築設計）〕
村上 恵理〔桐生瓦斯株式会社 営業部特需開発課長〕

欠席委員（3人）

委 員：根津紀久雄〔特定非営利活動法人北関東産官学研究会 会長〕
大澤 豊〔桐生商店連盟協同組合 理事長〕
坂本久美子〔桐生市女性人材リスト（農業委員・花き栽培）〕

（2）事務局（4人）

助川市民生活部長
川島環境課長
大木環境都市推進係長
高橋主事

4. 議題

- （1）桐生市環境先進都市将来構想の進捗状況等について
- （2）桐生市環境先進都市将来構想推進における協議会の活動について
- （3）その他

5. 議事要旨等

(1) 桐生市環境先進都市将来構想の進捗状況等について

① 桐生市環境先進都市将来構想実施計画の進捗状況について

平成29年度実施計画の実績及び平成30年度上半期の進捗状況について説明

② 桐生市環境先進都市将来構想の改訂について

将来構想を次年度改訂するための意見聴取実施

(2) 桐生市環境先進都市将来構想推進における協議会の活動について

平成30年11月23日（金）に開催を予定する講演会について説明

(3) その他

委員謝金について、謝金を11月中旬に支払う旨のお知らせ

6. 委員意見（質疑応答抜粋）

【議題1】 桐生市環境先進都市将来構想の進捗状況等について

○構想の見直しについて

【委員】

構想の改訂について、新たに重点項目を決めるのは良いと思う。現在は項目も多く、進捗していないものもある。市民が見てより分かり易いものにして欲しい。重点施策をアピールしながら進めることができれば良いと思う。

【委員】

当構想は環境先進都市のビジョンとなるものなので、10年・20年・30年先に繋がるようなものが望ましい。

電動アシスト自転車の利用推進の項目については、自転車だけでなく桐生市全体での公共交通体系から考える必要がある。公共交通と組み合わせたゾーン整備と自転車が走りやすいまちづくりを目指すが良いと考える。また、スローモビリティの導入としては、旧桐生市内でのゾーン30化の整備が良いと考える。

【委員】

桐生市ではゾーン20でも良いと思う。桐生市はスローモビリティが導入しやすいまちであると感じる。

【事務局】

都市計画課において、現在立地適正化計画の策定に向け検討が進められている。本年度末に策定となるため、方向性がまとまってきている状況となる。環境に配慮したまちづくりの観点より環境課として意見を出している状況である。

【委員】

現在の計画は機械的に進行していると思う。夢を見られない計画に感じてしまう。若いお母さんが自転車で過ごしやすいまち・夢を持てるような計画が良いと思う。計画はみんながイメージできる簡単なものにした方が良いと思う。

【委員】

電動アシスト自転車の活用を市は押し出しているが、自転車でも生活しやすいまちを押し出したほうが良いと思う。電動アシスト自転車は補助制度を実施しているが、あくまでも1つの選択肢であり、全面に出さなくても良いと感じる。

【事務局】

市内は自転車で移動するにはまだ道路整備が整っていない状況になる。環境課では、車から自転車に乗り換えることによる地球温暖化対策として電動アシスト自転車購入補助事業を実施している。

【委員】

環境のことを考えられる市民が増えると良いと思う。ハード施策ではなく、環境についてしっかり考えられる子ども達を育てられるようなソフト施策が必要と感じる。桐生が良いという価値観に繋がる取り組みができると良いと思う。未来創生塾はとても良い施策であると思う。

【事務局】

10年間のロードマップの後半5年間を啓蒙的に実施できるよう検討していきたい。

子どもへのアプローチについては、各課各事業で実施しているため、今後は、環境先進都市とリンクした取組として考えていきたい。また、環境先進都市の考え方を子ども達から発信できればと考える。

【委員】

改訂のスケジュールについてはどのようになるのか。

【事務局】

最終的に2020年2月頃を目途に新しい計画を策定できればと考える。

○啓発活動について

【委員】

事業の見える化を検討していただきたい。環境先進都市を目指している事がわかるようにアピールしていただきたい。

【委員】

市が出しているごみカレンダーに昨年の県内ごみ排出量ランクを掲出すると効果があると思う。また、先進国はゴミの排出量が少なくなるような意識啓発がなされているようだ。桐生市においても啓発ができる内容を刷り込むことによって、地域への啓発、自分への啓発に繋がると思う。

【事務局】

ごみカレンダーは様々な情報を掲載しているため、情報量が非常に多い状況となっている。情報を整理できるか検討していきたい。また、ごみ分別促進アプリを現在配信しているため、啓発情報を発信できるか検討していきたい。

【議題2】 桐生市環境先進都市将来構想推進における協議会の活動について

○意見なし